

『とほすがたり』 おもな登場人物



二条 本書の作者で主人公。後宮で女房として波瀾に満ちた半生を送る。出家後は日本各地を旅する。

後深草院 二条が四歳のときから養育し、十四歳からは女房として寵愛した元天皇。

雪の曙 (西園寺実兼) 二条の初恋の人で、恋人。宮中で要職に就く。

久我雅忠 (源雅忠) 二条の父。二条の皇子出産に立ち会うことなく他界。

大納言典侍 二条の母。後深草院の乳母もつとめた。二条が二歳の時に他界。

善勝寺のおじさま (隆顕) 二条の母方の叔父。雅忠の死後、二条を世話する。

東二条院 後深草院の正妻。二条に対し嫉妬をあらわにする。

有明の月 (性助法親王) 二条に思いを寄せる、後深草院の弟。仁和寺の阿闍梨。
近衛の大殿 (鷹司兼平) 摂政・関白となった要人。老齢。
亀山院 後深草院の弟。後深草院の次に即位した元天皇。

Y50
M80

K100

とほすがたり
53mm×135mm

しおり (裏面)

Y50
M80

K100

とほすがたり
53mm×135mm

しおり (表面)